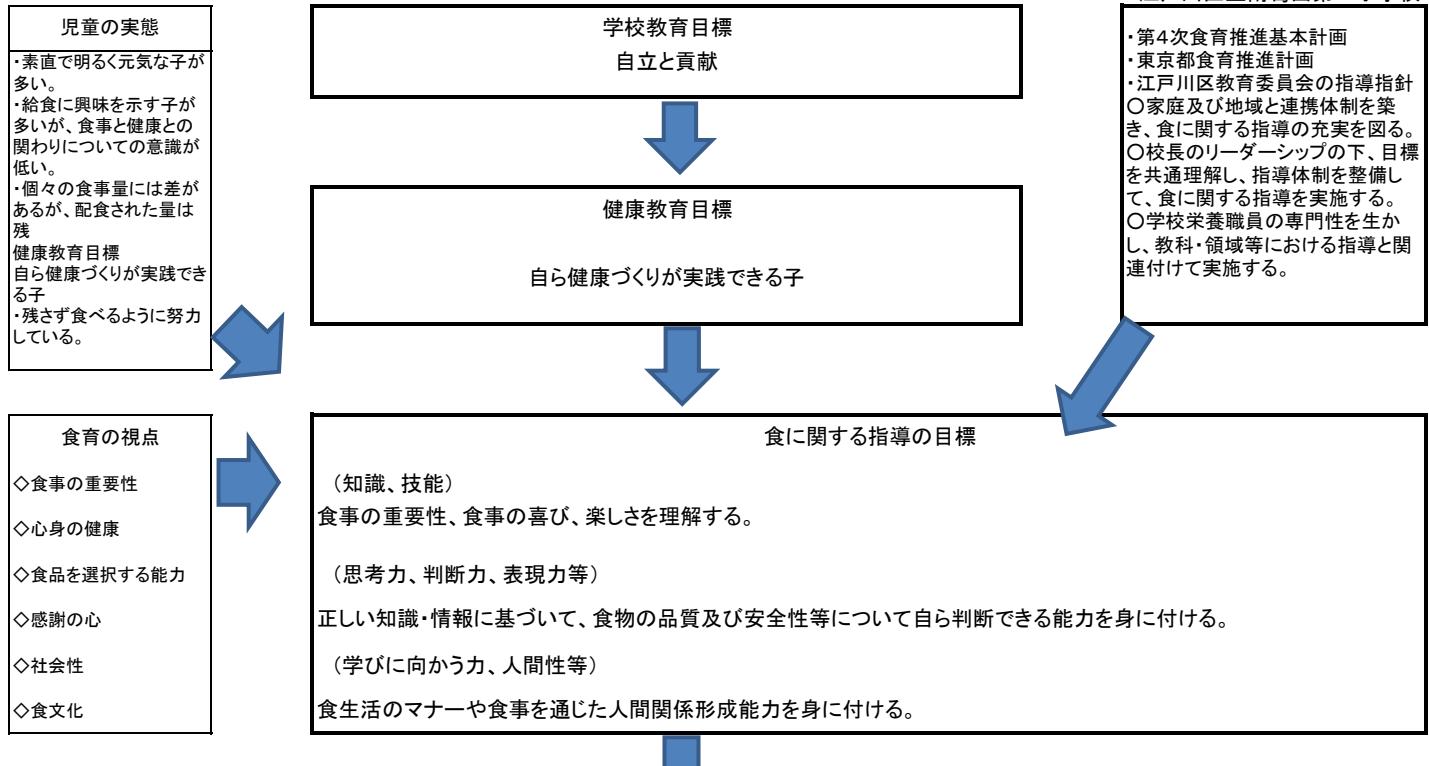


# 令和7年度 食に関する指導の全体計画①

江戸川区立南葛西第二小学校



各学年の食に関する指導の目標	
1・2年	食べ物に興味・関心をもち、食品の名前が分かるようにする。
3・4年	食べ物の働きにより3つのグループに分けられることを知り、食に対して興味をもてるようにする。
5・6年	食事を通して豊かな心と好ましい人間関係をはぐくむ。

## 食育推進組織

校長・副校长・栄養教諭・生活指導主幹教諭・保健主任・養護教諭・各学年担当教諭  
※必要に応じて、保護者代表、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の参加

## 食に関する指導

### 【教科等における食に関する指導】

関連する教科(生活、社会、理科、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等)において、食育の視点を位置付けて指導する。

### 【給食の時間における食に関する指導】

給食を食べる経験を積みながら、食のありがたみや、食品の旬、日本全国の特産や外国語の食文化等で学習したことを確認する。

給食指導として、準備から片付けまで安全を意識した一連の指導を繰り返し行い、食事のマナーや人間関係形成能力を習得させる。

### 【個別的な相談指導】

食物アレルギー等の個別的な相談指導を必要に応じて校内職員や家庭と連携して行う。

## 地場産物の活用

地産地消献立として国産や旬の食材を選定、江戸川区産の小松菜や東京都産の食材であるトビウオ、ムロアジ、等を使用、これらの地場産物等の使用について献立表や給食時間に紹介をするなど給食時の指導に活用し、教科等の学習や体験活動と関連を図る。3年生の小松菜農家見学等の学習や体験活動と関連を図る。

## 家庭・地域との連携

江戸川区食育推進会議、学校・学年・学級だより、保健だより、給食だより、学校給食試食会、関連行事への参画、学校保健委員会、学校給食運営委員会、ホームページなどで積極的な情報発信、学校評価

## 食育推進の評価

食に関する指導や学校給食の管理等の活動、児童の実態(残菜等や生活リズム等)

## 令和6年度 食に関する指導の全体計画②(年間指導計画)

江戸川区立南葛西第二小学校